

# 会 議 録

年 月 日	令和6年2月27日(火)
時 刻	自 午前10時 ~ 至 午前11時10分
場 所	伊那市役所 3階 303会議室
内 容	第2回 伊那市商工業振興審議会
議 概 要	<p>1 開会(重盛部長)</p> <p>2 あいさつ(安川会長)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・商工業振興ビジョン中間見直しについて、審議会全体で年末に協議いただいた後、3つの部会で担当範囲の協議をいただいた。</li><li>・委員の皆さんにあらためて確認、協議をいただいて後期5年のビジョン策定ができるよう協力をお願いしたい。</li></ul> <p>3 会議事項</p> <p>＜商工業振興ビジョン中間見直し(案)について、商工振興課・産業立地推進課から説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「外国人労働力の視点」も盛り込んでいただいた。現在でも外国人労働者は一定の割合を占めており、生産性維持のためには、外国人労働者の確保・育成は大切である。商工観光部だけでは解決できない課題であると思うので、他部局とも連携して取組みを進めていただきたい。</li><li>・産業立地推進課からの説明で、伊那市の人口1人当たりの製造品出荷額等が上伊那8市町村で下から2番目だと説明があった。伊那市は上伊那郡では中心となる市であり、他市町村より商業やサービス業のウエイトが高いはずである。人口1人当たりで比較すると、人口の多い伊那市は不利であり一概に比較するのは難しい。産業構造のバランスの中で工業振興をどうするかを考えた方が良い。もし比較するなら従業員1人当たりの製造品出荷額等で比較したほうがよいのではないか。</li><li>・企業誘致のリーフレットはどこへ配付しているか。 →企業アンケートを取り、立地の可能性の高い企業を抽出して企業訪問をしているが、その企業訪問の際に持って行き説明したり、関係機関の窓口に置いてもらったり、長野県の東京、大阪、名古屋各事務所が企業訪問する際にも活用してもらっている。</li><li>・展示会に自治体の企業誘致担当者がいて自治体のPRしているのを見るが、伊那市ではやっていないか。 →以前はやってしたが、企業の展示会出展担当部門と、開発担当部門が違うため成果が上らなかった。</li></ul> <p>＜出席委員全員の賛成で、商工業振興ビジョン中間見直し(案)を改訂版とすることについて承認をいただいた。＞</p>

#### 4 その他

- ・今後の産業用地の造成予定はどうか。  
→今後東原工業団地の第2期造成を進めていくが、第2期の区画でもG区画1区画が残っているのみである。
- ・目標達成に向けて、商工業振興審議会委員の皆さんのお力もお借りしながら具体的に取組みを進めてほしい。部会での協議の中で、「踏ん張っている中小企業の皆さんのためのビジョンであってほしい」という委員の発言があり印象に残っている。私もそのようなビジョンであってほしいと願う。
- ・審議会に参加し、「商工振興課としてはここまで」という線引きがあるように感じた。「商工振興課としてはこう考えるけれど、観光課はどう思う？」など、もっと意思の疎通をうまくして風通しよくやってもらえればと思う。

#### <商工振興課から説明>

- ・承認いただいた商工業振興ビジョン改訂版は、理事者に報告し、来月中には公表する予定である。

#### 5 閉会（重盛部長）